

# 学報

2015年6月 Vol.694



創立記念日行事（6月1日）

創立記念日行事を実施	01
本学留学生が郡上八幡の観光案内パンフレットの翻訳に協力	04
留学生センター 郡上踊り WORKSHOP を開催	05
第2回学長記者会見を実施	06
岐阜大学・FC岐阜 環境連携事業 岐阜う米(まい)プロジェクト 『どろんこサッカー大会&田植え体験』を開催	07
春のクリーンキャンパスを実施	08
森脇学長らがガーナ大学基礎応用科学部長らと懇談	09
学位授与	10
産官学連携の実施状況	11
外国人研究者の受け入れ	13
メディア掲載一覧	14
諸会議	17
主要日誌	20
人事異動（学内限定）	21

## 創立記念日行事を実施

本学は、6月1日（月）、創立66周年を迎えたことから、本学講堂において、学生、卒業生、教職員など約150名の出席のもと、創立記念日行事を実施した。

はじめに森脇学長から学長報告があり、「岐阜大学の現状と方針について」と題して、知の拠点、金型、南アジアコンソーシアム、救急医療などを例に挙げながら大学の現状を紹介し、プレゼンスを一層高めることにより、地域、国、世界に対する貢献を明示する必要があると報告した。また、今後の方針について「第3期以降に向けての将来ビジョン」を使って説明を行った。

その後、名誉教授称号授与、職員表彰、学生表彰及び感謝状贈呈を行った。さらに、参加者全員による本学愛唱歌「我等多望の春にして」の合唱により会場が大いに盛り上がった。

行事の最後には、第45回岐阜大学フォーラムとして、日本学術会議会長・豊橋技術科学大学長の大西 隆氏による「人口減少社会と国立大学の将来ビジョン」と題した記念講演が行われた。

大西氏は、国立大学が直面する財政難や人口減少社会の影響について、社会人学生の増加、世界的に見て高いとは言えない大学進学率の上昇、海外留学生の増加など、適応策と打開（緩和）策を提示しながら講演された。国立大学の将来ビジョンとして、地域の民間、公的資金の受け入れによる財源の多様化及び積極的社会還元、人材受け入れの多様化など積極的な国立大学への転換の必要性について熱弁された。

また、寄附金確保促進のための税制面の環境整備や、人口減少社会の継続、国の財政状況を鑑み、縮小案を含めた組織再編や統合再編を視野に入れる必要性などについても触れ、幅広い視点から国立大学の将来について語っていただくなど有意義な機会となった。



報告する森脇学長



講演する大西 隆氏

## 名誉教授称号授与

平成27年4月1日付けで名誉教授となった14人の各氏に、森脇学長が名誉教授称号の授与を行った。

(元所属部局)	(氏名)	(元所属部局)	(氏名)
医学部	滝内 隆子	大学院医学系研究科	星 博昭
工学部	中村 隆	工学部	川崎 晴久
工学部	安里 勝雄	工学部	山家 光男
工学部	本城 勇介	工学部	伊藤 昭
応用生物科学部	高見澤一裕	応用生物科学部	木村 正信
応用生物科学部	百町 満朗	応用生物科学部	松本 康夫
応用生物科学部	後藤 清和	総合情報メディアセンター	田阪 茂樹

## 職員表彰

○教育研究活動に著しく貢献した者について、功労者表彰として、4人の職員に、表彰状と記念品を贈呈した。

大学院医学系研究科	教授	原 明
工学部	教授	瀬瀬 守
医学教育開発研究センター	教授	鈴木 康之
保健管理センター	教授	山本真由美

## 学生表彰

○昨年度、各学部において極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた20人に、表彰状と記念品を贈呈した。

教育学部	保健体育講座	4年	太田 果寿	さん
教育学部	家政教育講座	3年	宮島 萌	さん
教育学部	英語教育講座	3年	田中真由子	さん
教育学部	家政教育講座	3年	渡邊 桃子	さん
地域科学部	地域政策学科	3年	藤原 実保	さん
地域科学部	地域政策学科	3年	毛受 美穂	さん
医学部	医学科	5年	森嶋 孝文	さん
医学部	医学科	5年	浅野 貴大	さん
医学部	看護学科	3年	波多野文香	さん

工学部	社会基盤工学科	3年	吉倉 淳平	さん
工学部	機械工学科	3年	沓掛あすか	さん
工学部	機械工学科	3年	山中 雄介	さん
工学部	化学・生命工学科	3年	森 友平	さん
工学部	化学・生命工学科	3年	加藤 大貴	さん
工学部	電気電子・情報工学科	3年	磯部 悠太	さん
工学部	電気電子・情報工学科	3年	長谷部瑛久	さん
工学部	電気電子・情報工学科	3年	森島 優菜	さん
応用生物科学部	応用生命科学課程	3年	小川 陽加	さん
応用生物科学部	生産環境科学課程	3年	杉浦 鉄太	さん
応用生物科学部	獣医学課程	4年	井芹 晴香	さん

### 感謝状贈呈

本学の諸事業に多大なご援助をいただいた学外の2団体と2人に、感謝状と記念品を贈呈した。

○私財を寄附し、本学の教育研究の発展に寄与した者

亀谷 正明 氏

渡邊 光啓 氏

○本学の教育研究の環境の向上に寄与した者

(株) コーワ 代表取締役社長 桂川 稔 氏

(株) バロー 代表取締役 田代 正美 氏

## 本学留学生在郡上八幡の観光案内パンフレットの翻訳に協力

本学と郡上市は多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築くことを目的に連携協定を締結している。また、本学留学生センターでは、長年にわたってサマースクール（受入）プログラムの郡上におけるホームステイなどの交流事業を活発に展開している。このような交流が契機となり、郡上市から観光パンフレットの翻訳依頼があった。

郡上市では、外国人観光客のガイドや観光のPR活動のために、日本語、英語、中国語、韓国語版のパンフレットを作成しており、今回さらにインドネシア語とタイ語版を作成することとなり、本学留学生在が協力した。

担当した3名の留学生在達は、既存のパンフレットを単に母国語で翻訳するのではなく、郡上八幡城等の観光地を実際に訪れ、自分たちが見聞したことや感じた魅力を盛り込みながら翻訳を行った。

この取り組みは国際交流、産官学連携の観点からみて大変有意義なものとなり、新聞各紙にもとりあげられた。



パンフレットを披露する留学生在

## 留学生センター 郡上踊り WORKSHOP を開催

本学留学生センターは、5月13日(水)、柳戸会館1階集会ホールにおいて、郷土芸能の一つであり国の重要無形民俗文化財の指定を受けている"郡上踊り"を学ぶワークショップを開催した。当日は、留学生、日本人学生、教職員約50人が参加した。このワークショップは、サマースクール(受入)プログラムや本学との地域連携協定の締結など、いろいろな交流実績がある郡上市との交流促進の一環として実施しているもので、今回で4回目の開催となる。

ワークショップは、郡上踊りの本場、郡上市八幡町から遠藤光生氏を講師としてお招きし指導いただいた。遠藤講師から郡上市や郡上踊りの概要について説明があり、踊りの演奏に使う大太鼓・小太鼓、三味線、笛が披露されたほか、郡上踊りの中で代表的な踊りである"かわさき"と"春駒"の2曲の踊りを指導いただいた。

参加者は皆、初めての体験と緊張で、最初は踊りの仕草や表情も硬さもあったが、すぐに慣れ、楽しそうに祭囃子の曲に合わせて踊る姿が見られた。大太鼓・小太鼓の試し打ちにも挑戦し、日ごろのストレスや運動不足の解消につながるワークショップとなった。

講師による郡上踊り名手の選考では6人の留学生が選ばれ、賞品(巾着袋や手拭い)が手渡された。



"かわさき"の振付練習

"小太鼓"を試打

輪になって楽しく踊る留学生

全員で記念撮影





























